

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2023.11.1 ~ 11.30)

□研究員人事 (11月30日)

退職 研究補助員 (R・A)
加藤旭人 (環境アーカイブズ)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』782号 (2023年12月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	21	10	31
受 贈	3	0	3
合 計	24	10	34

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 20日
閲覧者数 12名
貸出図書 14冊

コピーサービス

学外 9件 1,198枚
学内 1件 8枚

日 誌

- 1日 所員会議
事務会議
- 2日 「生活困窮者自立支援事業と生活保護制度の見直し議論の検証」共同研究プロジェクト
布川日佐史 (所長/現代福祉学部教授)「政策展開に関する認識と改善課題」
- 6日 出張：社会・労働関係資料センター連絡協議会第38回総会 (於：京都労働総合会館), 研修・見学 (於：立命館大学国際平和ミュージアム, 京都府立京都学・歴史館ほか, 出張者：鈴木、藤原, 個人参加：中村, 五十嵐仁 (名誉研究員)) (~7日)
- 7日 来所：柏書房 (産別会議資料の復刻について, 対応：榎, 土井)

- 8日 月例研究会
榎一江 (専任研究員)「研究倫理研修——公正な研究活動に向けて」
- 15日 運営委員会
① 2024年度国内研究員について
② 任期付専任研究員の再任について
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会
- 17日 大原社会政策研究会 (112回)
渡辺寛人 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程)「若年層が生活保護利用に至るプロセスの分析——自律性と過剰性の観点から」
- 18日 シンポジウム「『市民活動資料』収集・整理・活用の現場から——法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ, 立教大学共生社会研究センター, 市民アーカイブ多摩」(於：市ヶ谷キャンパス, 参加者60名)
- 20日 環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会
加藤旭人 (RA)「『東京都立多摩社会教育会館旧市民活動サービスコーナー資料』の整理と引継ぎ事項」
- 29日 第15回大原社研シネマ・フォーラム
上映会『ハマのドン』, トーク：松原文枝監督 (於：多摩キャンパス EGG DOME, 参加者66名)
来所：尼崎市立歴史博物館地域研究史料室 (環境アーカイブズ視察・書庫見学及び大原社研書庫見学, 対応：宇野, 中村)

大原社会問題研究所雑誌

No.785 (2024年3月号)

2024年3月1日発行

定価 1,018円 (本体926円+税10%)

年間購読 12,000円 (税込)

編集 (兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 布川日佐史

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042 (783) 2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.